

第6章 進行管理

I. 計画を推進し、地域福祉を進めるために

1. 地域・市町村との協働、地域福祉の理念、取組の普及・啓発

○ 地域福祉の主役はあくまで地域住民

地域福祉の主役は地域住民です。本計画は、地域住民の自主的な地域づくり、地域福祉活動を尊重し、広域的、専門的な見地から、地域活動を推進する市町村を支援するための計画です。

県は、常に、地域や市町村の実情に目を配り、協働意識を持って、各種施策に取り組んでまいります。

○ 地域の意見を計画の推進に反映させる推進組織

本計画は、地域福祉の担い手、市町村職員、当事者等、さまざまな県民の意見を伺い、地域の実態を踏まえ、策定しました。

計画の推進に当たっても、県民意見を吸い上げ、より実行性のある計画にするため、県民各層から構成される推進組織を中心に、本計画を着実に進めます。

○ 各種の推進施策、計画の積極的な広報、普及

地域づくり、地域福祉の活動は、意義深い活動ですが、その内容や意義が、住民に十分に伝わっていない事も指摘されています。

県では、本計画の推進に当たっては、地域、市町村と協力し、様々な媒体を使って広報、普及活動を図り、地域福祉活動の大切さを県民に広める努力をしてまいります。

2. PDCAサイクルによる進行管理

○ 毎年度ごとの進行管理を行い、結果を公表

計画は策定して終わりではなく、計画期間が終了するまで、着実に継続的に進行管理を行うことが重要です。

また、掲載されている施策は、県が、地域福祉活動を支援するために実施する、対外的な約束であり、実行に努める義務があります。

そこで、毎年度ごとに、各事業の進行管理を実施し、その結果を公表すること、併せて改善点を明らかにして、次年度の施策に活かすことで、PDCAサイクル¹による着実な実行に努めます。

¹PDCAサイクル：(78頁の脚注参照)

Ⅱ. 計画の基本指標

- 本計画では、計画全体の達成度や進捗を点検するための基本指標及び目標値を設けます。

基本指標	単位	現状 (計画時)	中間目標 (H30.3)	計画終了時 の目標 (H33.3)
地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると感じる県民の割合	%	16.1	25	次期千葉県総合計画において目標設定

Ⅲ. 施策ごとの達成目標

- 施策ごとに目標を定め、目標達成に向けて地域、市町村と共に取り組んでまいります。

1. 互いに支え合う地域コミュニティの再生

施策	指標	単位	現状 (計画時)	中間目標 (H30.3)	計画終了時 の目標 (H33.3)
1.市町村が行う地域福祉施策への支援	地域福祉計画策定市町村数	市町村	30	42	54
2.地域コミュニティづくり推進への支援	基本福祉フォーラムの設置(市町村)数	箇所	24	33	42
	小域福祉フォーラムの設置数	箇所	280	340	400
3.地域の課題解決に向けた取り組みや仕組みづくりへの支援	高齢者孤立化防止のためのネットワークを構築している市町村数	市町村	39	増加を指 します	次期高齢者保健福祉計画において目標設定

2. 生涯を通じた福祉教育と地域福祉を支える人材の育成

施策	指標	単位	現状 (計画時)	中間目標 (H30.3)	計画終了時 の目標 (H33.3)
1.福祉教育の推進	福祉教育推進校の数 (累計：小・中・高等学校)	校	758	818	878
2.福祉人材の確保・育成	コミュニティソーシャルワーカー育成研修受講者数(累計)	人	1,697	2,300	2,900
3.高齢者等の地域活動への参画支援	生涯大学校卒業時アンケートで地域活動に参加すると回答した学生数	人	1,006	卒業生の 6割	次期高齢者保健福祉計画において目標設定
4.地域活動に取り組む県民への支援	社会福祉等のボランティア登録数	人	95,298	増加を目指 します	増加を目指 します

3. 医療・福祉サービスの安定的な供給と地域活動基盤の強化

施策	指標	単位	現状 (計画時)	中間目標 (H30.3)	計画終了時 の目標 (H33.3)
1.地域包括ケアシステムの構築促進	地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催している市町村数	市町村	6	54	次期高齢者保健福祉計画において目標設定
	「定期巡回随時対応型訪問介護看護」を実践している市町村数	市町村	15	30	次期高齢者保健福祉計画において目標設定
2.地域で住み続けるための福祉施設・サービスの充実	特別養護老人ホーム整備数(累計)	床	21,917	27,880	次期高齢者保健福祉計画において目標設定
	障害者グループホーム等の定員	人	3,462	4,690	第六次障害者計画において目標設定
3.地域による子育て支援の充実	地域子育て支援拠点事業実施箇所	箇所	287	317	328

4. 支援が必要な人、一人ひとりを支える相談等支援体制の充実・強化

施策	指標	単位	現状 (計画時)	中間目標 (H30.3)	計画終了時 の目標 (H33.3)
1.総合的な相談 支援体制づくり	対象者横断的な総合 相談窓口の設置数 (県・市町村)	箇所	16	増加を目指 します	増加を目指 します
	地域包括支援センタ ーの設置数	箇所	151	193	次期高齢者保健 福祉計画におい て目標設定
2.生活困窮者等 に対する総合的 な支援	自立相談支援機関に おける自立相談支援 員養成研修の受講率	%	21	100	100
3.子ども・高齢 者・障害のある 人等の権利擁護 に関する相談等 支援	日常生活自立支援事 業利用者数	人	800	1,040	1,280
4.一人ひとりの 状況を踏まえた 相談等支援	ひきこもり地域支援 センターの相談見込 み件数	件	483	1,000	1,000
	福祉施設利用者の一 般就労への移行者数	人	570	940	1,060

PDCAサイクル：PDCAサイクルは、事業等の計画（Plan）－実施（Do）－評価（Check）－改善（Action）により行政運営の質を高めていく循環した一連の過程のことをいいます。また、PDCAサイクルによる進行管理は、目標を設定して（Plan）、事業を実施（Do）するだけに留まらず、実施状況や達成度などを分析して、課題を把握する評価（Check）を毎年度実施し、この評価に基づき必要となる改善（Action）を次の事業展開に反映することで、行政運営の質を高め、施策の推進を図る取組のことをいいます。